

～はじめよう現代短歌～

あなたの心をあなたの言葉で、五七五七七のリズムに乗せて作ってみよう！

「はたらけど／はたらけど猶(なお)わが生活(くらし)楽にならざり／ぢつと手を見る(石川啄木)」。百年の時を越え、いまでも人々の心に響くのは閉塞した時代状況のせいでしょうか。

そして現代。俵万智は、「嫁さんになれよ」だなんてカンチューハイ二本で言ってしまっている」と若い女性の恋心を今の言葉でやさしくうたいました。この歌から三十年経ち、現代短歌は口語、つまり普段の話し言葉で作るのがますます主流となっています。短歌のルールは五七五七七の三十一音、季語は必要ありません。古くさい表現も無理に使うことはありません。小難しく構えなくていいのです。おまけに多少の字余り、字足らずもOKときたもんだ(笑)。

だから、あなたにも「はい、短歌つくれます！」。見たもの、ふと感じたことを今の話し言葉で三十一音のリズムに乗せて気軽に自由にうたってみましょう。短歌は暮らしを生き活きたものに変え、日本語の奥深さが分かり、仲間ができ、そして何よりも人生を生涯にわたって豊かにしてくれます。

短歌の概要、歴史、秀歌の鑑賞、そして実作、添削まで、あなたの個性に合わせてやさしく丁寧にご指導いたします。

講師プロフィール

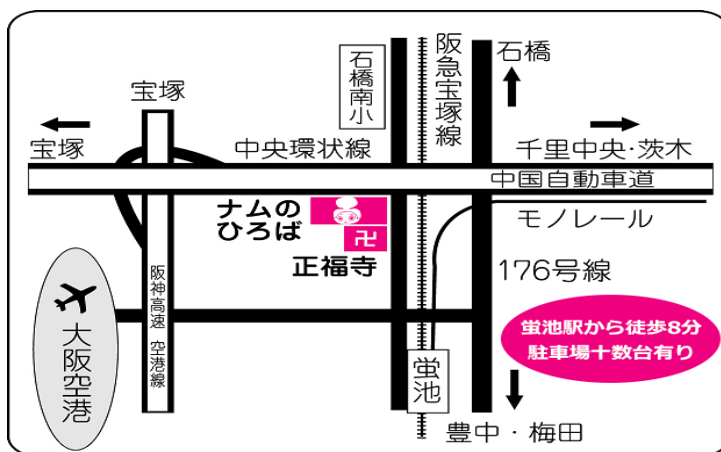
武富純一 (たけとみ じゅんいち / 昭和 36 年生)

心の花、日本歌人クラブ、現代歌人集会、兵庫県歌人クラブ、大阪府歌人クラブ会員。歌集「鯨の祖先」。2009 年毎日歌壇賞、第 1～3 回角川短歌大賞大阪府賞、角川短歌大賞題詠大賞、心の花賞。詳細は「[たけじゅん](#)」とネット検索してください。



・「まあええか」つぶやくほどにまたひとつ失うものが増えてゆきたり (武富純一)

曜日	第一・第三 火曜日
時間	10:00～12:00
開講月	随時入会できます
受講料	3200円 / 月(2回分)
教材費	込み



☆お問い合わせ / ナムのひろば文化会館 Tel. 072-761-5552